

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業(医療に関する事業:子どもはぐくみ医療費助成事業)							
補助事業者名	松茂町長							
実施場所	松茂町内							
補助事業の成果の目標	子どもはぐくみ医療費助成制度において、助成受給資格から所得による制度を撤廃し、その疾病の早期発見と治療を促進し、子供の保健の向上と福祉の増進を図る。							
補助事業の内容	基金を造成し、小学6年生までの医療費の一部を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成28年8月から令和7年3月まで							
事業費及び交付金額	基金造成額						基金処分額	基金残額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	平成28年度	円 19,600,000	円 263	円 0	円 3,737	円 19,604,000	円 2,454,505	円 17,149,495
	平成29年度	0	286	0	1,714	2,000	3,490,282	13,661,213
	平成30年度	0	638	0	1,362	2,000	3,862,971	9,800,242
	令和元年度	6,000,000	3,400,000	0	985	9,400,985	3,532,317	15,668,910
	令和2年度	0	0	0	1,566	1,566	3,047,822	12,622,654
	令和3年度	0	0	0	252	252	3,575,959	9,046,947
	令和4年度 予定	28,900,000	0	0	610	28,900,610	11,750,000	26,197,557
	令和5年度 予定	0	0	0	523	523	13,350,000	12,848,080
	令和6年度 予定	0	0	0	258	258	12,848,338	0
計	54,500,000	3,401,187	0	11,007	57,912,194	57,912,194		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>子どもはぐくみ医療の受給者にアンケート調査を行ったところ、回答者の全員が本制度の継続を希望し、「安心して子どもを育てられます」等の評価を得られ、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備に貢献できていることを確認した。</p> <p>また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を継続中である。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備を図りたい。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：町立文化施設専門職員配置事業)						
補助事業者名	松茂町長						
実施場所	徳島県板野郡松茂町広島字四番越11番地1及び徳島県板野郡松茂町広島字四番越6番地1						
補助事業の 成果の目標	地域住民が歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館及び町立図書館の運営に参加しやすい環境が構築されているとは言い難いことから、専門職員(学芸員、司書)を配置し、住民参加型文化事業を推進・活性化することにより、地域の教育及び文化環境の充実を図る。						
補助事業の内容	専門職員の配置 学芸員1名 非常勤職員(学芸員)1名 非常勤職員(司書)4名						
補助事業の 始期及び終期	令和3年6月1日から令和4年3月31日まで						
事業費及び交付金額		令和3年度					計
	事業費	円 11,104,356					円 11,104,356
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>○成果及び評価</p> <p>・コロナ禍の影響でイベントの休止や人数制限、一時的な町外利用者の入館禁止と、図書館並びに資料館とともに来館者数の低調が続いている。令和3年度は資料館は8,922人(コロナ禍前の令和元年度比62%)、図書館が58,443人(コロナ禍前の令和元年度比63%)となった。</p> <p>しかし一方で感染対策をしたうえで専門職員を配置し、現状できうる限りの催し物を開催した結果、アンケート評価で78%の人が地域の教育及び文化環境の充実さを挙げており(前年度74%)、住民参加型文化事業の推進・活用化の維持はできたと考えている。</p> <p>よって本事業の成果は得られたと判断する。利用者からは、資料館では「子ども向けの古文書のイベントの要望」、「地元の戦国武将に関連した講座の開催」等、学芸員への希望も多く、今後に活かしたい。また図書館では「子ども向けのイベントが多く助かる」、「司書さんやボランティアさんの読み聞かせで子どもも喜んでいる」といった好意的な意見も頂いた。</p> <p>一方で「わからない」という指摘もあったので、事業の周知と魅力のある行事を引き続き行うことが必要である。</p> <p>○地域住民への周知の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙 ・町HP ・事業をお知らせする告知ポスター 						
事業の改善措置及び 今後の対応	引き続き、本事業を継続することにより、コロナ禍が収まったあとも地域の教育及び文化環境の充実を図れるよう、適切に実施する。						
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業（教育・スポーツ及び文化に関する事業：町立小中学校講師等配置事業）				
補助事業者名	松茂町長				
実施場所	徳島県板野郡松茂町内 （松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の成果の目標	<p>児童数が少ない長原小学校においては、在籍者のいない1、3、5年生を除く2、4、6年生で2学級となる複式学級が基準となる。</p> <p>今年度は、徳島県が1名の教員加配措置を行い、複式学級が解消された運営が可能となったため、町内他校と同様、学年に応じた教育を受けることができる体勢となり、今年度の町費での講師の配置は必要なくなった。</p> <p>一方、松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校においては、正規の教員だけでは、特別支援学級に在籍する重い障害をもった児童・生徒一人ひとりに必要な個別教育・指導を十分に行うことが困難であることから、特別支援指導員を各校1名加配し、特別支援教育の充実を図る。</p>				
補助事業の内容	特別支援指導員 3名（松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の始期及び終期	令和3年6月から令和4年2月まで				
事業費及び交付金額		令和3年度			計
	事業費	円 5,596,162			円 5,596,162
	交付金額	円 4,500,000			円 4,500,000
事業成果内容	<p>特別支援指導員を加配した松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校においては、障害を持つ児童・生徒一人一人と親身に時間をかけて向き合うことにより、きめ細かい指導が実施でき、校長への聴き取り調査でも「児童一人一人に応じた指導内容・方法を工夫し、適切な指導を行うことができた」「児童の実態に合う、スモールステップな教材の作成により、児童のつまずきの解消に大きな成果をあげた」「指導員の配置により、それぞれの児童に必要な場面で個別対応をすることができた」「突発的、衝動的な生徒の変化にいち早く気づき、的確な対応を行って重大な事態になることを未然に防ぐことができた」「情緒面で不安定な生徒の特性を理解して接することができ、生徒が安心して学習に向かうことができた」などの評価を得られ、特別支援教育の充実が図れたことを確認した。</p> <p>また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を図ることができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	令和4年度においても、特別支援を必要とする児童・生徒が存在することから、本事業を継続することにより、学校教育及び特別支援教育の充実を図りたい。				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連公共用施設 (教育文化施設：町立幼稚園複合遊具更新工事) 整備事業						
補助事業者名	松茂町長						
実施場所	松茂幼稚園 喜来幼稚園						
補助事業の 成果の目標	<p>既存遊具について、設置からおよそ15年が経過し、「遊具の安全に関する基準」の標準使用期間が経過している。また、直近の遊具点検では、現在の基準を満たしていない箇所が多くあり、修繕または対策が必要という判定結果だった。</p> <p>指摘箇所について確認したところ、階段や手摺りの隙間、ボルトの突起等については、修繕での対応が可能だが、既存遊具の接続部分の隙間や高さ、安全領域の確保については、修繕での対応が難しい状況となっている。</p> <p>このため、遊具を更新することにより園児の安全を確保し、新しい遊具での健康で活発な活動を支援することを図る。</p>						
補助事業の内容	複合遊具の設置 松茂幼稚園 1基 喜来幼稚園 1基						
補助事業の 始期及び終期	令和4年1月20日から令和4年3月29日まで						
事業費及び交付金額		令和3年度					計
	事業費	円 15,853,200					円 15,853,200
	交付金額	14,000,000					14,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>○成果及び評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児の安全確保と健康で活発な活動を支援できているかを確認するために、複合遊具を更新した各幼稚園の先生にアンケートを行った。その結果、アンケートが回収できた20名中、16名が「『特定防衛施設周辺整備調整交付金』が活用されていることを知っている」と回答し、また、「安全が確保された」と10名、「健康で活発な活動が進んだ」と19名が回答した。 先生からは、「園児が喜んで使っている」「いろいろな遊び方ができる」「身体の発達に役立っている」「考えながら遊んでいる」「高さが低く安全になり、保育もしやすくなった」という意見があった。 <p>これらのことから、遊具を更新することにより園児の安全を確保し、新しい遊具での健康で活発な活動を支援することを図る事ができたと考えている。</p> <p>よって本事業の成果は得られたと判断する。</p> <p>○地域住民への周知の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 町HP 町広報誌 						
事業の改善措置及び 今後の対応	今後も園児の安全や、活発な活動のために、適切な維持管理を実施する。						
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連公共用施設(教育文化施設:松茂町学校給食センター設備等更新事業)整備事業							
補助事業者名	松茂町長							
実施場所	徳島県板野郡松茂町中喜来字群恵304番地6							
補助事業の成果の目標	<p>町立学校給食センターにおいて、松茂町学校給食センター設備等が導入後21年が経過しており、老朽化及び腐食等が見られる。洗浄能力の低下や腐食による異物混入の危険性もある。補修に関しても部品調達が困難な状況となっている。このため、松茂町学校給食センター設備等を更新することにより安全・安心な学校給食の継続的な提供を図る。</p>							
補助事業の内容	スプーン洗浄機付浸漬装置 1基 炊飯施設 一式 コンテナ洗浄機 1基							
補助事業の始期及び終期	令和元年6月18日から令和3年9月30日まで							
補助事業及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 6,588,000	円 18,700,000	円 12,980,000	円	円	円	円 38,268,000
	交付金額	円 4,500,000	円 12,000,000	円 9,500,000	円	円	円	円 26,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>成果及び評価 松茂町学校給食センターの業務に従事している栄養教諭及び調理員へアンケートを実施したところ、全ての者から、老朽化及び腐食の見られた設備を更新したことにより、安心・安全な給食を提供する環境の改善に効果があったと感じているとの回答が得られた。 このことから本事業の成果は得られたと判断する。</p> <p>地域住民への周知 ・町ホームページ掲載 ・町広報誌掲載</p>							
事業の改善策及び今後の対応策	引き続き、安心・安全な学校給食を継続的な提供ができるように努める。 使用前、使用後の点検や細やかなメンテナンスを実施することによりコンテナ洗浄機等を健全な状態で使用できるように努める。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。